

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年12月19日)

- 1 鳥取県公共交通利用促進キャンペーンの実施について  
【交通政策課】・・・1ページ
- 2 鳥取県スポーツ指導員の第66回全日本相撲選手権大会優勝について  
【スポーツ課】・・・2ページ

地 域 振 興 部

0  
0

0  
0

## 鳥取県公共交通利用促進キャンペーンの実施について

平成 29 年 12 月 19 日  
交通政策課

12 月 1 日から 31 日を公共交通利用促進月間（「とっとりのりものキャンペーン～公共交通をもっと身近に、もっと気軽に～」）として、県民に対して公共交通の利用を呼びかける啓発活動を下記のとおり実施しています。

### 記

#### 1 趣旨

人口減少や少子高齢化の進展によりバスや鉄道などの公共交通の利用者が減少傾向にある中、公共交通の利用促進を目的に年末の 12 月を公共交通利用促進月間と定め、交通事業者等の民間団体、地方自治体、国等の関係者が協力して公共交通の利用を働きかける。

#### 2 キャンペーンの概要

##### (1) 名称

とっとりのりものキャンペーン～公共交通をもっと身近に、もっと気軽に～

##### (2) 実施期間

平成 29 年 12 月の一ヶ月間を「公共交通利用促進月間」とし、12 月 12 日（火）～21 日（木）に実施している年末交通安全県民運動に併せて、集中的にキャンペーンの広報を実施する。

##### (3) 内容

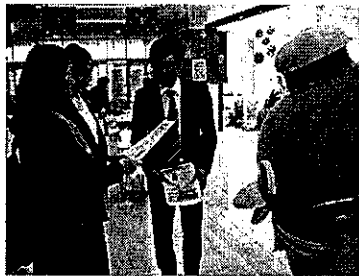
国、県、市町村、交通事業者等が一丸となって公共交通の利用促進の啓発を行い、県民の皆さんに公共交通について考え、利用していただくと共に、バスの利用促進に繋がるバス経路検索システム等の「バスネット」の周知を行う。

#### 3 具体的な取組

- (1) ラジオ・新聞広告：朝の通勤時間帯でのラジオ放送や新聞による広報を実施（BSS、FM 山陰、日本海新聞（12/13））
- (2) PR チラシ配布：大手スーパー（イオンモール鳥取北、イオンモール日吉津）のほか、観光施設や駅、バスターミナル等で国、県、市町村の職員やトリピーと一緒にチラシ等配布
- (3) バスの乗り方教室：倉吉市で開催の「とりっこエコ活カーニバル」、鳥取市の公民館活動（城北地区公民館、湖山西地区公民館）、八頭町の「まちづくり委員会（中私都地区福祉施設、隼地区福祉施設）」活動においてバスの乗り方教室を開催
- (4) キャンペーン PR：県の HP、SNS 等による PR
- (5) 関係者における取組：国、県、市町村、交通事業者等が一丸となって県民ノーマイカー運動の取組の推進や、地域イベント等における PR 活動を展開する
  - ・各団体毎にノーマイカーデーの設定
  - ・市町村の広報誌、ホームページ、ケーブルテレビ等による情報発信 など



○とりっこエコ活カーニバルにおいてバスの乗り方教室を開催（11/26）



○イオンモール日吉津においてチラシ等配布（12/12）



○八頭町「まちづくり委員会」の活動でバスの乗り方教室を開催（12/13）

# 鳥取県スポーツ指導員の第66回全日本相撲選手権大会優勝について

平成29年12月19日

ス ポ ー ツ 課

12月3日に東京両国国技館で開催された「第66回全日本相撲選手権大会」で鳥取県庁のスポーツ指導員である西郷智博選手が優勝しアマチュア横綱になりました。

本県所属選手としては初めて、鳥取城北高校出身者としては3人目の快挙となりました。(前回は新十両の水戸龍=トウルボルド・バーサンスレン、鳥取城北高校・日本大学出身)

## 1 大会概要

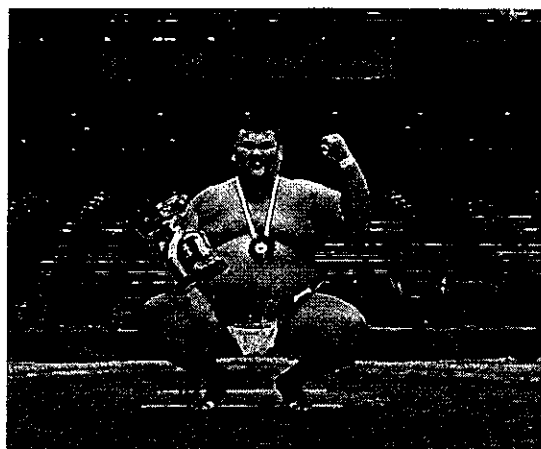
全国大会に出場し上位入賞してポイントを積み重ねた社会人・大学生選手が出場する。また、インターハイ優勝、国体優勝の高校生も出場権を与えられる。優勝者には日本相撲連盟からアマチュア横綱の称号が贈られ、大相撲において幕下15枚目格の幕下付出しの資格を取得できる。

- ・開催期日：平成29年12月3日(日)
- ・会 場：両国国技館(東京都墨田区)
- ・出場選手：68人

## 2 選手プロフィール

西郷 智博(さいごう ともひろ)

- ・25歳 岐阜県出身(182cm、178kg)
- ・鳥取城北高校、日本大学出身、  
鳥取県庁スポーツ課スポーツ指導員(平成27年4月から)
- ・昨年の岩手国体で個人優勝、今年の愛媛国体で個人3位、  
昨年の全日本相撲選手権では決勝トーナメント1回戦敗退。



## 3 成績

・結果：優勝

・対戦：予選 3戦全勝

決勝トーナメント 2回戦より出場

- ① 2回戦 押し出し 対 岡田祐輔 選手 (アイシン軽金属)
- ② 3回戦 寄り倒し 対 城山聖羅 選手 (東洋大) H29 愛媛国体成年男子個人優勝
- ③ 準々決勝 寄り切り 対 黒川宗一郎 選手 (アイシン軽金属)  
H29 全日本実業団相撲選手権大会個人優勝
- ④ 準決勝 押し出し 対 木崎伸之助 選手 (日大) 鳥取城北高校出身
- ⑤ 決勝 押し倒し 対 三輪隼斗 選手 (糸魚川市体協)

・戦評

3回戦で今年の愛媛国体で敗れた城山選手に、準々決勝では全日本実業団選手権の決勝で敗れた黒川選手に見事リベンジ。決勝戦は突き放してきた相手にあわてず対応し相手が引いたところを前に出て押し倒した。本人でも驚くほど体が動き、1日8試合という過酷な戦いを制した。全体を通して安定感抜群の試合ぶりであった。

### 参考

今年度の県スポーツ課スポーツ指導員の主な実績

・佐々木耕大(相撲)

全日本実業団相撲選手権大会 個人3位

・金田聡士(自転車) ※中部総合事務所駐在

第72回国民体育大会「2017愛顔つなぐえひめ国体」4km団体追い抜き 7位

第52回全国都道府県対抗自転車競技大会 1kmタイムトライアル 3位、4km団体追い抜き 5位

・山本佑莉(セーリング)、木村沙耶佳(セーリング) ※西部教育局駐在

第72回国民体育大会「2017愛顔つなぐえひめ国体」セーリングスピリッツ級 4位